

介護ロボットの導入にあたって必要とされる表示項目

移乗支援（装着型）

大項目	中項目	小項目	備考
I 適用	1 対象者（高齢者）	機器使用の対象となる高齢者の身体状況（身長、体重など）	
	2 対象者（介護者）	機器使用の対象となる介護者の身体状況（身長、体重など）	
II 禁止事項	3 禁止事項	機器を使用してはならない高齢者・介護者、使用してはいけない場所や場面など	
III 使用上の注意	4 注意事項	機器が安全に稼働しない使用方法や事故につながる可能性がある使用方法など	
	5 安全に利用するための配慮	安全に利用するために気をつけておく必要があること（例：充電しながら使用しない）	
	6 倫理面の配慮	機器使用にあたり画像撮影など、高齢者・介護者のプライバシーに関わる情報を収集・活用する場合の配慮（例：同意書の取得）	
IV 使用方法	7 使用方法	使用する際の手順、動画へアクセス（QRコード）など	
	8 使用環境	使用場所の状態や温度・湿度など	
	9 使用場面	機器の使用場面（ケアなどの内容）	
	10 高齢者に対する安全面の配慮	高齢者に危険が及ばないように留意すべき事項（例：機器を使用する際はカバーをかけて使用する）	
V 効果	11 介護者に対する安全面の配慮	介護者に危険が及ばないように留意すべき事項（例：機器を持ち運ぶ際、可動部分を掴まない）	
	12 使用することで実現する高齢者への効果	※デメリット（注意）がある場合には合わせて記載	
	13 使用することで実現する介護者への効果	〃	
VI 仕様、構造	14 使用することで実現する施設への効果	〃	
	15 使用場所、必要スペースなど	機器が使用できる場所（屋内・外、居室・浴室・トイレなど）、使用に必要な広さ	
	16 サイズ	機器の外形寸法（横幅、長さ、高さなど）	
	17 重量	機器の総重量	
	18 材質	高齢者や介護者に触れる部分の素材（フレーム、ベルトなど）	
	19 電源・バッテリー	電源の確保方法（コンセント接続、バッテリー稼働、充電器の有無など）	
	20 充電時間	充電完了までの所要時間	
	21 連続使用時間	継続で使用可能な時間	
	22 使用時の音	使用時に発生する稼働音（アラート音以外）	
	23 緊急発報の方法	使用時に危険を知らせる緊急発報（アラート）の表示方法、アラート音	
	24 安全性の認証取得	機器の安全性認証（PSE, EMCなど）の取得状況	
	25 防水・防塵加工	機器の防水・防塵加工の実施状況	
	26 アシスト力を発揮する部位	機器を使用する高齢者・介護者の身体の中のどの部分のアシストをするか（腰、腕など）	
	27 アシスト力	高齢者（利用者）もしくは介護者に対するアシスト力（数値）	
28 稼働方式	機器を稼働させる際の方法（スイッチ、子機、筋電など）		
29 必要な通信環境	インターネット回線、Wi-Fi環境の要否		
30 データの記録機能、有無と内容	機器を利用したことを示すデータ、動作中の各種センサデータの記録方法		
31 他の機器との連携・互換性	他社の機器との連携・互換性の有無		
VII メンテナンス	32 準備・片付け	使用にあたっての準備内容・時間および片付けの時間	
	33 保管方法	保管の方法や場所など	
	34 メーカーによるメンテナンス	メーカーが定期的実施すべきメンテナンスの内容、実施方法	
	35 ユーザーによるお手入れ	使用者が使用の都度や定期的実施する必要があるお手入れの内容、実施方法	
	36 消耗品の有無	機器使用にあたって必要となるもの、定期的交換する消耗品の有無	
	37 保証期間	機器の故障・不具合に対し、メーカーによる無償修理・交換などの対応期間	
	38 修理対応期間	機器購入後の修理対応などが保証される期間	
39 耐用年数	安全に使用可能な年数（機器の寿命）		
VIII コスト	40 本体・付属品の定価	機器本体や必要な付属品の購入価格	
	41 ランニングコスト	日常的に発生する費用（電気代、通信費など）	
	42 教育研修費	メーカーなどによる使用者へ操作方法や注意点などの研修実施費用	
IX オプション	43 追加できる機能	基本機能に追加できる機能	
X 問合せ先	44 緊急時の問合せ先	機器の不具合、予期せぬエラーなどが発生した際の問合せ先、対応時間	
	45 よくある質問（Q&A）	施設などから多く寄せられる質問と回答	

介護ロボットの導入にあたって必要とされる表示項目

移乗支援（非装着型）

大項目	中項目	小項目	備考
I 適用	1 対象者（高齢者・介護者）	機器使用の対象となる高齢者・介護者の身体状況（身長、体重など）	
	II 禁止事項	2 禁止事項	機器を使用してはならない高齢者・介護者、使用してはいけない場所や場面など
III 使用上の注意	3 注意事項	機器が安全に稼働しない使用方法や事故につながる可能性がある使用方法など	
	4 安全に利用するための配慮	安全に利用するために気をつけておく必要があること（例：不安定な場所で使用しない）	
	5 倫理面の配慮	機器使用にあたり画像撮影など、高齢者・介護者のプライバシーに関わる情報を収集・活用する場合の配慮（例：同意書の取得）	
IV 使用方法	6 使用方法	使用する際の手順、使用できる場面、動画へアクセス（QRコード）など	
	7 使用環境	使用場所の状態や温度・湿度など	
	8 使用場面	機器の使用場面（ケアなどの内容）	
	9 高齢者に対する安全面の配慮	高齢者に危険が及ばないように留意すべき事項（例：高齢者の意識が不明瞭な時には使用させない）	
V 効果	10 介護者に対する安全面の配慮	介護者に危険が及ばないように留意すべき事項（例：機器を移動させる際、可動部分を掴まない）	
	11 使用することで実現する高齢者への効果	※デメリット（注意）がある場合には合わせて記載	
	12 使用することで実現する介護者への効果	〃	
VI 仕様、構造	13 使用することで実現する施設への効果	〃	
	14 使用場所、必要スペースなど	機器が使用できる場所（屋内・外、居室・浴室・トイレなど）、使用に必要な広さ	
	15 サイズ	機器の外形寸法（横幅、長さ、高さなど）	
	16 重量	機器の総重量	
	17 材質	介護者や高齢者に触れる部分の素材（シート、マットレスなど）	
	18 形状	機器使用時の形状（例：ベッド型から車いす型に変化する）	
	19 電源・バッテリー	電源の確保方法（コンセント接続、バッテリー稼働、充電器の有無など）	
	20 連続使用時間	継続で使用可能な時間	
	21 連続使用回数	最大連続使用回数、1回の充電で可能な使用回数など	
	22 使用時の音	使用時に発生する稼働音（アラート音以外）	
	23 緊急発報の方法	使用時に危険を知らせる緊急発報（アラート）の表示方法、アラート音	
	24 安全性の認証取得	機器の安全性認証（PSE、EMCなど）の取得状況	
	VII メンテナンス	25 防水・防塵加工	機器の防水・防塵加工の実施状況
26 稼働方式		機器を稼働させる際の方法（スイッチ、子機など）	
27 必要な通信環境		インターネット回線、Wi-Fi環境の要否	
28 データの記録機能、有無と内容		機器を利用したことを示すデータ、動作中の各種センサーデータの記録方法	
29 他の機器との連携・互換性		他社の機器との連携・互換性の有無	
VIII コスト	30 準備・片付け	使用にあたっての準備内容・時間および片付けの時間	
	31 保管方法	保管の方法や場所など	
	32 メーカーによるメンテナンス	メーカーが定期的実施すべきメンテナンスの内容、実施方法	
	33 ユーザーによるお手入れ	使用者が使用の都度や定期的実施する必要があるお手入れの内容、実施方法	
	34 消耗品の有無	機器使用にあたって必要となるもの、定期的に変換する消耗品の有無	
	35 保証期間	機器の故障・不具合に対し、メーカーによる無償修理・交換などの対応期間	
	36 修理対応期間	機器購入後の修理対応などが保証される期間	
	37 耐用年数	安全に使用可能な年数（機器の寿命）	
IX オプション	38 本体・付属品の定価	機器本体や必要な付属品の購入価格	
	39 設置導入に伴う費用	機器の天井や壁などに設置するための部品・運搬・搬入作業に関する費用	
	40 ランニングコスト	日常的に発生する費用（電気代、通信費など）	
X 問合せ先	41 教育研修費	メーカーなどによる使用者へ操作方法や注意点などの研修実施費用	
	42 追加できる機能	基本機能に追加できる機能	
X 問合せ先	43 緊急時の問合せ先	機器の不具合、予期せぬエラーなどが発生した際の問合せ先	
	44 よくある質問（Q&A）	施設などから多く寄せられる質問と回答	

介護ロボットの導入にあたって必要とされる表示項目

移動支援（屋外）

大項目	中項目	小項目	備考
I 適用	1 対象者（高齢者）	機器使用の対象となる高齢者の身体状況（身長、体重など）	
	II 禁止事項	2 禁止事項	機器を使用してはならない高齢者・介護者、使用してはいけない場所や場面など
III 使用上の注意	3 注意事項	機器が安全に稼働しない使用方法や事故につながる可能性がある使用方法など	
	4 安全に利用するための配慮	安全に利用するために気をつけておく必要があること（例：充電しながら使用しない）	
	5 倫理的に配慮する事項	機器使用にあたり画像撮影など、高齢者・介護者のプライバシーに関わる情報を収集・活用する場合の配慮（例：同意書の取得）	
IV 使用方法	6 使用方法	使用する際の手順、使用できる場面、動画へアクセス（QRコード）など	
	7 使用環境	使用場所の状態や温度・湿度など	
	8 使用場面	機器の具体的な使用場面（ケアの内容）	
	9 高齢者に対する安全面の配慮	高齢者に危険が及ばないように留意すべき事項（例：高齢者の意識が不明瞭な時には使用させない）	
V 効果	10 介護者に対する安全面の配慮	介護者に危険が及ばないように留意すべき事項（例：機器を移動させる際、可動部分を掴まない）	
	11 使用することで実現する高齢者への効果	※デメリット（注意）がある場合には合わせて記載	
	12 使用することで実現する介護者への効果	〃	
VI 仕様、構造	13 使用することで実現する施設への効果	〃	
	14 使用場所、必要スペースなど	機器が使用できる場所（屋内・外、路面状況、傾斜居室・浴室・トイレなど）、使用に必要な広さ	
	15 サイズ	機器の使用時・保管時の外形寸法（横幅、長さ、高さなど）	
	16 形状	機器の使用時・保管時の形状（折り畳みなど）	
	17 重量	機器の総重量	
	18 積載量	機器に積載可能な総重量	
	19 電源・バッテリー	電源の確保方法（コンセント接続、バッテリー稼働、充電器の有無など）	
	20 充電時間	充電完了までの所要時間	
	21 連続使用時間	継続で使用可能な時間	
	22 使用時の音	使用時に発生する稼働音（アラート音以外）	
	23 緊急発報の方法	使用時に危険を知らせる緊急発報（アラート）の表示方法、アラート音	
	24 安全性の認証取得	機器の安全性認証（PSE, EMCなど）の取得状況	
	VII メンテナンス	25 防水・防塵加工	機器の防水・防塵加工の実施状況
26 稼働方式		機器を稼働させる際の方法（スイッチ、子機など）	
27 必要な通信環境		インターネット回線、Wi-Fi環境の要否	
28 必要なシステム・設備		本体以外に用意する必要があるサーバーやパソコンなど	
29 データの記録機能、有無と内容		機器を利用したことを示すデータ、動作中の各種センサデータの記録方法	
30 他の機器との連携・互換性		他社の機器との連携・互換性の有無	
31 準備・片付け		使用にあたっての準備内容・時間および片付けの時間	
32 保管方法		保管の方法や場所など	
33 メーカーによるメンテナンス		メーカーが定期的実施すべきメンテナンスの内容、実施方法	
34 ユーザーによるお手入れ		使用者が使用の都度や定期的実施する必要があるお手入れの内容、実施方法	
VIII コスト	35 消耗品の有無	機器使用にあたって必要となるもの、定期的に交換する消耗品の有無	
	36 保証期間	機器の故障・不具合に対し、メーカーによる無償修理・交換などの対応期間	
	37 修理対応期間	機器購入後の修理対応などが保証される期間	
	38 耐用年数	安全に使用可能な年数（機器の寿命）	
	39 本体・付属品の定価	機器本体や必要な付属品の購入価格	
	40 設置導入に伴う費用	機器の天井や壁などに設置するための部品・運搬・搬入作業に関する費用	
	41 ランニングコスト	日常的に発生する費用（電気代、通信費など）	
	42 教育研修費	メーカーなどによる使用者へ操作方法や注意点などの研修実施費用	
IX オプション	43 追加できる機能	基本機能に追加できる機能	
X 問合せ先	44 緊急時の問合せ先	機器の不具合、予期せぬエラーなどが発生した際の問合せ先	
	45 よくある質問（Q&A）	施設などから多く寄せられる質問と回答	

介護ロボットの導入にあたって必要とされる表示項目

見守り（施設）

大項目	中項目	小項目	備考
I 適用	1 対象者	機器使用の対象となる高齢者の身体状況（身長、体重、認知機能の程度など）	
II 禁止事項	2 禁止事項	機器を使用してはならない高齢者・介護者、使用してはいけない場所や場面など	
III 使用上の注意	3 注意事項	機器が安全に稼働しない使用方法や事故につながる可能性がある使用方法など	
	4 安全に利用するための配慮	安全に利用するために気をつけておく必要があること（例：電源コードの上に物を載せない）	
	5 誤報の有無	※誤報の有り場合は、具体的な場面の事例	
	6 使用上の注意	※反応しない体位が有る場合、具体的な体位や場面の事例	
	7 倫理的配慮	機器使用にあたり画像撮影など、高齢者・介護者のプライバシーに関わる情報を収集・活用する場合の配慮（例：同意書の取得）	
IV 使用方法	8 使用方法	日常的に使用する際の手順、使用できる場面など、動画へアクセス（QRコード）など	
	9 使用方法（再設定）	機器の設置位置の変更などによる再設定の方法やかかる時間など	
	10 使用環境	使用場所の状態や温度・湿度、明るさなど	
	11 使用場面	機器の具体的な使用場面（ケアの内容）	
	12 高齢者に対する安全面の配慮	高齢者に危険が及ばないように留意すべき事項（例：高齢者が触れる場所にポールなどを立てて設置しない）	
	13 介護者に対する安全面の配慮	介護者に危険が及ばないように留意すべき事項（例：地震などで機器が落下し他者に被害や危険が及ばないようにする）	
V 効果	14 機器を使用することで実現する高齢者への効果	※デメリット（注意）がある場合には合わせて記載	
	15 機器を使用することで実現する介護者への効果	〃	
	16 機器を使用することで実現する施設への効果	〃	
VI 仕様、構造	17 使用場所、必要スペースなど	機器が使用できる場所（屋内・外、居室・浴室・トイレなど）、使用に必要な広さ	
	18 設置場所	天井、壁、柱などの具体的に設置できる場所	
	19 設置方法	据え置き、釘打ちなどの具体的な設置方法	
	20 サイズ	機器の外形寸法（横幅、長さ、高さなど）	
	21 形状	機器の形状（パネル型、柱型など）	
	22 重量	機器の総重量	
	23 電源・バッテリー	電源の確保方法（コンセント接続、バッテリー稼働、充電器の有無など）	
	24 使用時の音	使用時に発生する稼働音（アラート音以外）	
	25 緊急発報の方法	使用時に危険を知らせる緊急発報（アラート）の表示方法、アラート音	
	26 安全性の認証取得	機器の安全性認証（PSE、EMCなど）の取得状況	
	27 防水・防塵加工	機器の防水・防塵加工の実施状況	
	28 検知方式（センサー、画像など）	機器が危険などを感知する際の検知方法（センサー、画像など）	
	29 検知範囲	機器が危険などを感知できる距離・面積など	
	30 反応速度（タイムラグ）	センサーが反応してから介護従事者の端末に通知される速度（時間）	
	31 最大見守り人数	接続可能な見守りセンサーの台数や管理画面での確認可能数	
	32 必要な通信環境	インターネット回線、Wi-Fi環境の要否	
	33 必要なシステム・設備	本体以外に用意する必要があるサーバーやパソコンなど	
34 データの記録機能、有無と内容	機器を利用したことを示すデータ、動作中の各種センサデータの記録方法		
35 他の機器との連携・互換性	他社の機器との連携・互換性の有無		
VII メンテナンス	36 メーカーによるメンテナンス	メーカーが定期的実施すべきメンテナンスの内容、実施方法	
	37 ユーザーによるお手入れ	使用者が使用の都度や定期的実施する必要があるお手入れの内容、実施方法	
	38 消耗品の有無	機器使用にあたって必要となるもの、定期的に交換する消耗品の有無	
	39 保証期間	機器の故障・不具合に対し、メーカーによる無償修理・交換などの対応期間	
	40 修理対応期間	機器購入後の修理対応などが保証される期間	
41 耐用年数	安全に使用可能な年数（機器の寿命）		
VIII コスト	42 本体・付属品の定価	機器本体や必要な付属品の購入価格	
	43 設置導入に伴う費用	機器を天井や壁などに設置するための部品・作業に関する費用	
	44 ランニングコスト	日常的に発生する費用（電気代、通信費など）	
	45 教育研修費	メーカーなどによる使用者へ操作方法や注意点などの研修実施費用	
IX オプション	46 追加できる機能	基本機能に追加できる機能	
X 問合せ先	47 緊急時の問合せ先	機器の不具合、予期せぬエラーなどが発生した際の問合せ先	
	48 よくある質問（Q&A）	施設などから多く寄せられる質問と回答	